保土ケ谷区防災マップ
HODOGAYA WARD DISASTER PREVENTION MAP

地域防災拠点一覧
Evacuation point list

※風水害時に開設される避難場所とは異なります。

No	地域防災拠点名		所在地	索引	電話番号
1	新井小学校	Arai E.S.	上菅田町1574-1	B-1	383-3455
2	上菅田笹の丘小学校	Kamisugeta Sasanooka E.S.	上菅田町134-1	C-2	382-1161
3	上菅田中学校	Kamisugeta J.H.S.	上菅田町780	C-2	381-7161
4	旧くぬぎ台小学校	Former Kunugidai E.S.	川島町1374-1	B-5	–
5	西谷中学校	Nishiya J.H.S.	川島町1208	C-5	373-5511
6	川島小学校	Kawashima E.S.	川島町1162	C-5	371-0757
7	上星川小学校	Kamihoshikawa E.S.	上星川二丁目51-1	E-4	381-7227
8	常盤台小学校	Tokiwadai E.S.	釜台町22-1	F-5	331-4808
9	保土ケ谷中学校	Hodogaya J.H.S.	釜台町3-1	E-6	331-8521
10	坂本小学校	Sakamoto E.S.	坂本町6	E-6	332-4322
11	仏向小学校	Bukkou E.S.	仏向町845	F-7	332-1521
12	星川小学校	Hoshikawa E.S.	星川三丁目18-1	F-6	332-2101
13	峯小学校	Mine E.S.	峰岡町1-10	G-6	331-5302
14	宮田中学校	Miyata J.H.S.	宮田町1-100	H-6	331-5288
15	帷子小学校	Katabira E.S.	川辺町65-1	G-7	335-5896
16	橘中学校	Tachibana J.H.S.	仏向町1167-2	D-7	335-5991
17	桜台小学校	Sakuradai E.S.	桜ケ丘一丁目13-1	F-8	341-6848
18	保土ケ谷小学校	Hodogaya E.S.	神戸町129-4	G-7	332-7095
19	富士見台小学校	Fujimidai E.S.	岩井町307	G-9	741-4169
20	岩崎小学校	Iwasaki E.S.	岩崎町22-1	F-9	331-5123
21	瀬戸ケ谷小学校	Setogaya E.S.	瀬戸ケ谷町243	F-9	713-8336
22	初音が丘小学校	Hatsunegaoka E.S.	藤塚町1-1	D-8	351-1201
23	権太坂小学校	Gontazaka E.S.	権太坂二丁目4-1	D-9	742-6311
24	境木小学校	Sakaigi E.S.	戸塚区平戸三丁目48-1	C-10	822-8670
25	藤塚小学校	Fujizuka E.S.	新桜ケ丘一丁目22-1	C-8	351-2314
26	今井小学校	Imai E.S.	今井町981-1	B-9	351-3392
27	岩崎中学校	Iwasaki J.H.S.	桜ケ丘二丁目6-1	F-8	331-3663

広域避難場所一覧
Designated evacuation area list

No	名称
A	三ツ沢競技場一帯 Mitsuzawa athletic field and surrounding areas
B	清水ケ丘公園一帯 Shimizugaoka park and surrounding areas
C	横浜市児童遊園地 Yokohama children's amusement park
D	県立保土ケ谷公園一帯 Kanagawa prefectural Hodogaya park and surrounding areas
E	川辺公園及び横浜ビジネスパーク一帯 Kawabe park, Yokohama business park and surrounding areas
F	横浜国立大学 Yokohama National university
G	笹山団地 Sasayama apartment complexes
H	くぬぎ台団地 Kunugidai apartment complexes
I	横浜カントリークラブ一帯 Yokohama Country Club and surrounding areas

凡例
The legend

- 地域防災拠点（指定避難所）Evacuation Point
- 地域防災拠点区割 Evacuation Zone
- 広域避難場所 Designated evacuation area
- 帰宅困難者一時滞在施設 Temporary stay facilities
- 災害時給水所
  - 緊急給水栓 Emergency hydrant receiving tank
  - 災害用地下給水タンク Underground Water Tank
  - 配水池 Water Reservoir
  - 耐震給水栓 Earthquake resistant water tap
  - 受水槽 Water Tank
- 下水直結式仮設トイレ（災害用ハマッコトイレ） Portable Toilet Connected to Sewers
- 災害用井戸協力の家（生活用水としての利用で、飲用ではありません） Emergency well (undrinkable) ※2月末時点
- 消防団器具置場 Base for the fire corps
- サイレン（河川水位警報システム） Water Level Alert Siren
- 防災スピーカー Emergency speaker
- 緊急輸送路 Emergency road
- 土砂災害警戒区域 Cliff Susceptible to Landslides ※土砂災害特別警戒区域は「土砂災害ハザードマップ」を参照してください。
- 急傾斜地崩壊危険区域 Area Susceptible to Landslides
- 「土砂災害警戒情報」の発表とともに避難指示を発令する対象区域 Landslide Risk Area (evacuate if landslide warning is issued)
- 「土砂災害警戒情報」の発表とともに避難指示を発令する場合の避難場所 Evacuation Point in Case of Landslide Warning
- 公園 Park
- 区界 Ward boundaries
- 町丁界 Town boundaries
- 市営地下鉄 Yokohama municipal subway
- JR線 JR line
- 私鉄 Private line
- 区役所 Ward office
- 病院 Hospital
- 警察署 Police station
- 学校 School
- 交番・駐在所 Police box
- その他の施設 Other Facilities
- 消防署 Fire station
- 主要な交差点名 Main intersection
- 消防出張所 Fire station branch office

浸水想定区域

1時間で約90ミリの大雨（100年に1回降ると想定される降雨）により、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合を想定して計算しています。

- 5.0m以上～10.0m未満
- 3.0m以上～5.0m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 0～0.5m未満

浸水深のめやす

- 5.0～10.0m未満
- 3.0～5.0m未満 2階部分まで浸水する深さ
- 0.5～3.0m未満 1階天井をこえて浸水する深さ
- 0～0.5m未満 おとなの膝まで浸かる深さ

防災用語	用語の説明
地域防災拠点	地震などによって家が倒壊または焼失し、住む場所がなくなった人が一定期間避難生活を送る場所。[27か所]（「地域防災拠点一覧」参照）
広域避難場所	地震によって大火災が発生し、炎上拡大した場合、その火災の熱や煙から生命・身体を守るために避難する場所。[9か所]（「広域避難場所一覧」参照）
緊急給水栓	災害時、地震に強い管に臨時の給水装置を取り付けて給水する施設。おおむね発災4日目以降、水道局職員が断水状況を踏まえ、順次、仮設の蛇口を取り付けます。
災害用地下給水タンク	通常配水管の一部として水道水が流れている地下式の貯水槽で、水圧が下がると流入、流出の弁が閉まり、飲料水が貯留されます。 発災後おおむね3日間、地域の皆さんによって仮設の蛇口を取り付け、給水することができます。
配水池	浄水場でつくられた飲料水を各ご家庭に配水する施設。地震災害時には、水道局職員が仮設の蛇口を設置し、給水を行います。
受水槽	応急給水施設として利用できる受水槽。
下水直結式仮設トイレ（災害用ハマッコトイレ）	地震の影響で水洗トイレが使用不能となった場合でも、地域防災拠点などにおいて使用できる公共下水道に直結した仮設トイレです。
土砂災害警戒区域	がけ崩れが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域。
急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊により近隣の居住者などに相当数の危害が生じると見込まれる区域、及び崩壊を助長、誘発するおそれのある区域。
帰宅困難者一時滞在施設	地震などにより交通機関がストップした際に、帰宅困難者が一時的に滞在する場所として指定された建物。
緊急輸送路	災害発生後の応急対策に必要な物資、資機材、要員等を輸送する緊急車両が通行する道路。災害時には交通規制が行われます。

津波避難対象区域図

施設の凡例
- 津波避難施設
- サイレン（津波警報伝達システム）

海抜標示の凡例
- 海抜10m以上の区域
- 海抜5m以上10m未満の区域

避難対象区域
神奈川県が想定した慶長型地震の津波による浸水予測区域（浸水深）
- 1.20m以上～2.00m未満
- 0.50m以上～1.20m未満
- 0.00m以上～0.50m未満

1：6,500　0m　200m

※避難対象区域は、神奈川県が想定した「慶長型地震」の津波浸水予測区域及び横浜市が実施した検証によって河川遡上による影響の可能性があるとした区域からなります。
※この図に示す浸水予測区域等は、シミュレーション結果によるものです。実際の津波発生時には、この図に示す浸水よりも、広い範囲が浸水したり、浸水深が大きくなる場合があります。
※平成27年3月31日に県津波浸水予測が見直されていますが、現在、県の津波対策推進会議において、県下市町による対策が検討されていることから、現状では避難対象区域図の変更等はありません。

1：8,000　0m　250m　500m

地図調製・印刷（株）中央ジオマチックス

横浜市保土ケ谷区総務課　〒240-0001 横浜市保土ケ谷区川辺町2-9　電話 045-334-6203　FAX 045-334-6390　横浜市地形図複製承認番号 平30建都計第9069号

リサイクル適性Ⓐ　この印刷物は、印刷の際に使用した「リサイクルインキ」で印刷されています。